

我等松君

題字は

初代監督 故・松島正吉先生

平成20.4 Vol. 20-1

第30号



新年度のご挨拶



■陸上部後援会 会長 **鈴木 章介** (7回卒)

浜商陸上競技部OB・OGの皆様には御変わりなく御過ごしの事と拝察申し上げます。

さて、平成20年度の母校後輩達の試合は5月9日(金)インターハイ一次予選西部地区大会(浜松四ッ池)より始まります。生徒たちの活躍は我々OB・OGの若い時代を思い出させて呉れるものがございます。……が、本年度母校陸上競技部の入部者は10人余で、この尽の状態が続きますと、来年、再来年にはリレーメンバーも組めず、京都全国高校駅伝の県予選会にも出場出来ない状態になるのではないかと憂慮している次第であります。

是非、皆様のご意見、ご協力を頂きたいと思います。

結びに、会員皆々様の御健勝、御多幸を祈念し、母校浜商陸上競技部への多大なるご理解を頂けます事を願っております。

※ ご 挨拶 ※



■陸上部

監督 山下 徹也

着任3年目が終わろうとしています。1年前の展望に、「この4月より浜商を離れる佐藤・袴田両先生の功績は大きく、2人がなされたことは独りですぐに担げませんが、生徒の最大限の頑張りを引き出せるように努めます。そして、佐賀にのりこみます。」と寄せさせていただきました。また、1年があつという間に過ぎてしまいました。

佐賀総体への道は厳しかったですが、東海大会では本当によく頑張ってきたなど実感しました。本校の東海大会出場者はみんな善戦しました。400mの川村（2年）は7位、800mの山本（3年）は8位、走高跳の佐藤（2年）は7位、三段跳で佐々木（3年）は9位、女子で400mHの佐藤（3年）は8位、走高跳で辻（1年）は7位と惜しくもインターハイに手が届きませんでした。が、その他の200m伊堂（2年）、800m川村、4×400mR、三段跳小野（3年）、砲丸投春田（3年）、女子で走高跳大城（2年）、7種競技鈴木（3年）が全員総体出場権を獲得しました。その内、小野と大城は東海チャンピオンになりました。後少しのところまで東海出場者全員が佐賀への切符を手に入れることは出来ませんでした。素晴らしい頑張りで、最大限に近い頑張りは発揮できたのではないかと思います。佐賀では、経験不足から、大城の8位入賞一つに留まってしまいました。後援会の皆様には寂しい結果の御報告になり、申し訳なく思っております。しかし、佐賀の地でも1人1人よく頑張れました。

総体後、新主将川村が率いるチームになり、幾つかの競技会を経ました。秋田国体では少年女子共通走高跳で大城が6位。日本ジュニア・ユース選手権ではユース200mで伊堂が4位、ユース走高跳で大城が2位に入賞できました。

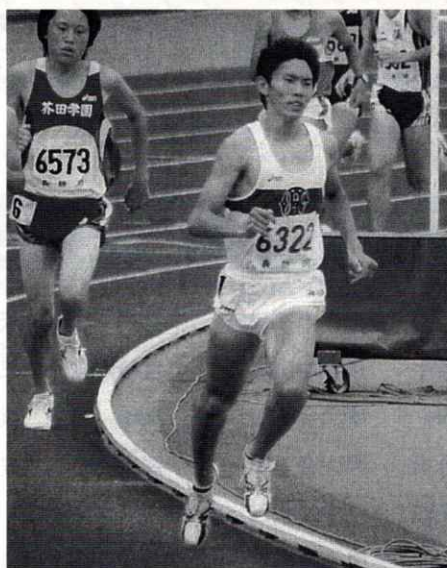
11月の高校駅伝では「駅伝は復活への礎を築きます。」と寄せた言葉に違わぬ努力で邁進しましたが、結果を好転させるには力不足でした。ここでも、後援会の皆様には寂しい結果の御報告になり、申し訳なく思っています。

例年になく冷たい冬を元気よく越え、部員たちは遅くなりました。厳寒の1月、空がまだ薄暗くても、朝7時には登校し、氷が張るような冷たい水が残るタータンやサークルの水取やグラウンド整備を行い、7時30分には朝練習に黙々と取り組みました。放課後の練習にも競争意識を高め、個々人が目標達成に向け不断の努力で取り組みました。今年も幾人かの3年生は旅立ちまで下級生と共にトレーニングに励んでくれました。その協力もあり、厳しい鍛錬期を充実して終えることができました。その成果を発揮する季節がもうそこまで訪れています。

東海新人チャンピオンの伊堂、800mで総体・国体を経験した川村、5000mWの廣野、走高跳の佐藤、走幅跳・三段跳の手塚、女子では、総体・国体入賞の走高跳の大城、その大城と共に力をつけている辻らを軸に頑張れます。自分のことを最後の最後まで自分自身が諦めない。そんな日々の粘りが、埼玉の地でも披露することができるように、最後まで気を引き締めて臨みます。

末筆になりますが、後援会の皆様方の幾多の励ましに感謝しております。ありがとうございました。そして、平成20年度も部員たちへの励ましをお願い致します。

結びに、平成19年度卒業生の皆さん、最後まで多くの者が私や下級生に協力してくれました。心から、ありがとう。そして頑張れ。



平成20年度 主要大会日程・競技場

総 体	西部予選	5月9日(金) ～ 11日(日)	浜松四ツ池
	県 予 選	5月30日(金) ～ 6月1日(日)	エコパ(袋井市)
	東海予選	6月20日(金) ～ 22日(日)	長良川(岐阜市)
	全国大会	7月29日(火) ～ 8月2日(土)	熊谷スポーツ文化公園(埼玉・熊谷市)
新 人 戦	西部予選	9月13日(土) ～ 14日(日)	浜松四ツ池
	県 予 選	10月4日(土) ～ 5日(日)	草薙(静岡市)
	東海大会	10月25日(土) ～ 26日(日)	三重県営総合(伊勢市)
国 体	大分大会	10月3日(金) ～ 7日(火)	九州石油ドーム(大分市)
浜松中日カーニバル		11月3日(月・祝)	浜松四ツ池
駅 伝	県 予 選	11月2日(日)	エコパ(袋井市)
	東海大会	11月23日(日)	岐阜県庁前(岐阜市)
	全国大会	12月21日(日)	西京極(京都市)

鈴木会長が浜商同窓会会長に就任しました

昨年6月、鈴木章介後援会長が第14代目同窓会会長に就任しました。陸上部後援会にとりましても御同慶の至りであります。御祝い申し上げますと共に敬意を表します。

平成19年度 全国大会入賞報告

佐 賀 総 体

(女子3年連続入賞)

女子 走高跳 8位 1m63 大城 彩貴 2年

秋 田 国 体

女子 少年共通走高跳 6位 1m66 大城 彩貴 2年

平成19年度 陸上部後援会賞授与

長距離

鈴木隆太郎

3年

平成20年度 新 入 生 紹 介

竹之隈一郎 竜洋中 110mH 全日中準決勝
岡本 圭史 袋井南中 400m 全日中出場
伊藤浩一路 湖西中 800m 県大会 6 位
池谷 健吾 丸塚中 砲丸投 県大会 6 位
寺田 極 丸塚中 長距離 県中学駅伝出場
谷口 直也 新居中 3,000m 県大会出場

井村 和奏 天竜中 走幅跳 県大会 2 位
宮崎里佳子 三方原中 走幅跳 東海大会 7 位
大場 絢乃 浜松東部中 走幅跳 県大会 8 位
清水 千広 笠井中 長距離 県中学駅伝出場



総会および選手激励会のご案内

総会および選手激励会を開きますので、皆様多数のご出席をお願い申し上げます。

日 時 5月18日(日) 11時 総会 12時 選手激励会
会 場 呉竹荘(浜松市中区東伊場) TEL 053-453-1511
会 費 5,000円

住所を変更した時は、事務局(学校内)へお知らせ下さい。

本誌「若松我等」が、転居先不明などの事由で返送されて戻ってくる場合があります。
住所を変更した時は、ハガキかFAXでお知らせ下さい。

後援年会費(5,000円)納入のお願い

皆様の力強い御支援のもとに後輩達が伝統を守り継いで輝かしい活躍を続けています。今年もお振込み下さるようお願いいたします。

振込金融機関	静岡銀行 浜北支店	普通預金 483489
	浜松信用金庫 本店営業部	普通預金 832470
	遠州信用金庫 本店営業部	普通預金 1103697
	郵便局	12320-21490361
振込先口座名義	浜商陸上部後援会 (ハマショウリク)	
振込期日	6月15日まで	

振込の際、卒業回数をご記入下さい。(記入例) 52回卒 若松 薫 → 52若松 薫

昭和33年卒…10回卒 昭和43年卒…20回卒 昭和53年卒…30回卒

昭和63年卒…40回卒 平成10年卒…50回卒 平成20年卒…60回卒

(なお、5,000円を超える分の金額につきましては「ご寄付」とさせていただきます。)

平成19年度 会計報告

自 平成19年 4 月 1 日 至 平成20年 3 月31日

(単位:円)

1 収入の部

(1)前期繰越金	1,007,190	
(2)年会費収入	400,000	
(3)寄付金収入	50,000	
(4)仮受金	375,000	20年度年会費前受
(5)その他の収入	538,088	激励会・壮行会の会費収入など
計 2,370,278		

2 支出の部

(1)陸上競技部助成金	300,000	
(2)総会兼選手激励会費用	347,790	
(3)インターハイ壮行会費用	178,000	
(4)「若松我等」発行費用	235,065	印刷・郵送代
(5)駅伝関係費用	78,950	応援バス代など
(6)その他の支出	506,579	山下元監督受賞祝賀会・会議費など
計 1,646,384		

3 次期繰越金

723,894

※ 浜商陸上部・後援会への想い ※

後援会員

河村 啓一 (21回卒)
(浜松市中区鴨江)



昭和44年に卒業し、東京・広島で8年間過ごし浜松に帰り、後援会会計を21年間担当させて頂きました。今、鈴木章介会長のもと1000人を優に越す後援会会員を抱え、輝かしい成績を築き上げている陸上部、そのような価値のある会員に在籍させて頂ける事は誠に光栄のことと感謝いたしております。そんな陸上部・後援会への想いを述べて見たいと思います。

この歳になってまず気がついた事は、あたりまえとはいえ、現役が3年間、卒業して40年間という事です。浜商陸上部現役時代はほんの一瞬で卒業後が非常に永いという事です。卒業後の後援会会員としての陸上部に対する想いが非常に重要と考えております。

私の現役はマネージャーでしたが、第21回広島インターハイで800m・4×400mR・ハンマー投げに出場しました。インターハイに向け毎日練習をしているある日、突然私が先輩と一緒に助成金集めに行く事になりました。なにも解らない私も助手席に乗り頭を下げ家々を回り、助成金を集めました。そして有楽街の佐藤中華料理店の二階でささやかではありましたが、壮行会を開催して頂き、初めてOBの現役選手に対する熱い想いを感じました。

その時の先輩が6回卒の松田恒さんでありました。坊主頭の私を連れ忙しい仕事の合間に、OBを尋ね助成金を集める作業はさぞかしご苦勞されたと思います。今では<陸上部後援会>と言えば話は通じますが、まだなにも組織が出来ていない時代理解されるまで、いちから説明をして協力をお願いするのは、ものすごいエネルギーを費やした事と思います。今思えばあの行動が後援会活動の原点ではないかと考えております。

強くなり大人数を抱え常に全国を目標にする為には、現役の監督やスタッフだけでは非常に難しいと思います。学校、後援会、父母の会が一丸となって応援をしなければならないと考えます。松島正吉先生より5人の監督、杉田清さんより5人の後援会会長、中沢章年さんより26人の父母の会会長、それぞれに苦勞・努力を重ね今日の浜商陸上部を作り上げてきたのではないかと思います。また影ながらいつも支えて頂いておられる方々も数多くおられることも承知しております。

その中でも常に黒子に徹し永い間後援会活動を通じ現役選手・監督・コーチ・後援会等を支えて来られたのが、松田恒さんと私は確信しております。

松田さんは現役時代大活躍され第6回横浜インターハイでは初の総合優勝に貢献しました。社会人になって(株)メイセイを創業。後援会活動のかたわらスポーツタウンメイセイ駅伝競走部を発足し、浜商卒業生を中心に、駅伝チームを作り後輩に走る楽しみの場を提供し、また、相談事に応じたりして面倒を見ております。今後も陸上部の良き理解者として益々のご活躍・ご発展を願っております。

最後に、浜商陸上競技部の隆盛と関係者皆様のご健勝を祈念いたしまして、今回の寄稿とさせて頂きます。

ゴリラの大看板が目印!!

6回卒 松田 恒

スポーツタウン メイセイ

〒430-0907 浜松市中区高林5-9-13 ☎053-472-4533 ■浜松中央警察署北隣り

デント・イス・机・1つからお貸しします。

7回卒 石津 守康

式典パーティー

記念式典・地鎮祭・竣工式・展示会・除幕式 etc

会議・研修

講演会・学会・研修会・セミナー

フェスティバル

商店街フェア・産業祭・地域まつり・夏まつり

株式
会社

レンダー商会

☎(053)462-0682

FAX(053)461-5062 浜松市中区佐藤1丁目31-8



“expartner” 経営者の良き相談相手

MBC GROUP

税理士法人東海浜松会計事務所

〒430-0946 浜松市中区元城町 113-15 TEL(053)455-2181(代) FAX(053)452-2303

URL <http://www.nb-n.co.jp/mbc/>

捨てるから利用へ ステップ バイ ステップの

14回卒 鈴木 洋佑

株式
会社

太洋サービコ

〒431-0202 浜松市西区坪井町 3465-12 TEL (053) 447-4640 FAX (053) 449-1029

Flower Shop SUZUKI

15回卒 鈴木 久仁英

浜松市中区住吉2-32-9

聖隷浜松病院西

TEL:053-474-5566(代)

FAX:053-472-6980

■売 店
■自販機

せいれい浜松病院店
聖隷三方原病院
浜松医療センター

杉田 清(4回卒) 田米康二(4回卒) 石津守康(7回卒) 高山 功(10回卒)
川瀬 豊(14回卒) 宮津育男(16回卒) 小野敬二(16回卒) 岩井澄雄(17回卒)
松下佳司(28回卒)

《御寄付をいただき誠にありがとうございます》